

令和2年度 金泉小学校学校経営方針

<教育目標>

希望：夢に向かってがんばろう 共生：助け合い、学びあおう
個性：自分らしさを出そう

<重点目標>

共生：助け合い、学びあおう
学校は、学ぶところ、力を合わせる場所

<こんな学校に>

- 1 子どもも教職員も「次の日も、学校に行きたいな」と思える学校
友達に会える・先生に会えることに喜びを感じる子ども、みんなで学ぶことに喜びを感じる子どものいる学校。子どもを育てることにやりがいを感じる教職員のいる学校。
- 2 子どもの成長を願い教育活動を展開するとともに、
教職員も自ら学び、自己の成長を図る学校
「本質は何か」を考え、子どもの成長を願い教育活動を推進する。また、職務を遂行する中で教職員自身も自ら学び、指導力を高め、成長を図る。
- 3 教職員一人一人の力を結集し、教育課題の解決を図る学校
学習指導要領の全面实施や学校に課せられる様々な課題に向け、教職員の力を結集し解決に当たる。

<重点事項>

- 1 児童の「学び」を支える教育課程の編成、実施
(1) 学校の伝統や地域の環境を生かした教育課程を編成し実施する。
- 2 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
(1) 「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」とは何かを一人一人の教職員が考えながら日々の授業実践を積み知見を交流する。
(2) 全国学力・学習状況調査、Web配信集計システム等の計画的な活用を基に指導法を検証し、日々の授業改善に努める。
- 3 地域から学び、ふるさとへの愛着と誇りをもつ学習の推進
(1) 地域の自然・歴史・文化を学び、ふるさとをよく知り愛着を感じる中でふるさとへの誇りや将来への希望をもち、未来を切り拓く力を育てる。
(2) 学校運営協議会、地域コーディネーターと連携を図る。
- 4 豊かな人間性の育成といじめを生まない風土づくり
(1) 自然体験活動や奉仕的な活動等を重視した道徳教育の充実を図る。「金泉の花咲き山活動」を通し、自己有用感を高め共感的な人間関係を育む。
(2) 道徳の教科化を受け授業改善を行い、「考える道徳」「議論する道徳」を目指すとともに「周囲に流されない強い心」「様々な他者との共生への姿勢」を育む。
(3) 児童に関する情報交換の日常化や、子どもを語る会を実施し、いじめや不登校の未然防止に努める。いじめ問題対策委員会、不登校対策委員会を機能させ、早期発見、即時対応、組織的対応を行う。
- 5 特別支援教育の充実
(1) 支援を要する児童について、その児童の特性に応じた有効な指導法を探るとともに、児童の自尊感情を高めさせる。
- 6 働き方改革を進める
(1) 常に既存の教育活動を見直す視点で業務に当たる。
(2) 勤務時間外の在校時間の減少に取り組む。